

町政執行方針 和寒町長 奥山 盛

令和三年度からは、第六次総合計画を町政の指針として、今後も見込まれる医療費や介護保険など社会保障費の増大を勘案し、事業全体の見直しを行ないながら、町民の皆さんが「住んでいて良かった、住み続けたいと思えるまちづくり」を目指して、全力で取り組む所存であります。

新型コロナウイルス感染症予防対策関係については、これまで独自の感染症対策や事業者への支援などに努めてきておりますが、今後関係機関や団体と連携を密にしながら、必要な対策に取り組む考えであります。

政府は、新型コロナウイルス対策のほか、子育て世代からお年寄りまで、すべての世代が安心できる社会保障制度づくりを目指しており、町としては、こうした国の政策に対応しつつ、まちの将来を次世代に引き継いでいけるよう、当初予算を編成したところであります。

(当初予算の金額や一般会計の内訳については3ページで、今年度の具体的な事業については4ページから一覽でご紹介していただきます。)



三浦文学でフットパス (夫婦岩)

執行方針の全文については、誌面での紹介は省略しますが、ご希望の方には冊子をお渡します。総務課庶務係までお申し出ください。

教育行政執行方針 和寒町教育委員会

和寒町教育委員会では、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成、学校、家庭、地位が一体となった教育活動を推進し、初年度となる「第六次和寒町総合計画」や「教育大綱」を踏まえ、教育・文化・スポーツの振興を図るため、関係機関、団体等との連携に努め、町民の皆さまの期待と信頼に応える教育行政を推進してまいります。

学校教育においては、
① 自立した生き方を支える基本的な資質・能力と実践的な力を培う教育

② 思いやりや豊かな心をはぐくみ、健やかな心身を育てる教育

③ 学習環境の整備

の3つを重点施策に、

社会教育・文化活動においては、
① 家庭・地域の教育力の向上への支援と充実

② 社会教育活動の充実

③ 社会教育推進と文化振興のための基盤整備

の3つを重点施策に位置づけ、取り組んでまいります。



和寒の未来を考える会

今後も、関係機関や諸団体と連携を密にし、協働のまち、和寒を支える人づくりの実現と教育の振興に最善の努力をしていきます。